

免許返納ライフ 電動アシスト



電動アシスト自転車の貸し出しサービスで用意する（左から）四輪の「けんきゃくん」と三輪の「PASワゴン」＝浜松市西区

月額制 自転車貸し出し

浜松のセリオ 新サービス

高齢者向け電動車両の販売やレンタルを手掛けるセリオ（浜松市西区）が、安定性に優れた電動アシスト自転車の貸し出しサービスを始めた。三輪と四輪の二車種を用意し、月単位で利用が可能。運転免許の返納後も活動的な生活をを目指す人が、気軽に試せる移動手段として提案する。（久下悠一郎）

貸し出すのは、ヤマハ発動機製の三輪車「PASワゴン」と、協栄製作所（南区）が開発した四輪車「けんきゃくん」。いずれも買値が安く、物や農作業に便利なかごを前後に備える。四輪のけんきゃくんは、今月施行された改正道路交通法で、七

歳以上などの条件を満たせば歩道を走行できるようになった。月々の料金はPASが一万四千五百円、けんきゃくんが一万四千八百五十円。半年ごとの訪問点検も無料で実施する。サービス名は「シヨートク」。本社併設の「モビリティショップ浜松」や千葉、埼玉、大阪各府県の店舗を手始めに、対象地域を拡大する計画だ。

セリオは一九九六年設立。全国三十五カ所に営業所を構え、電動車いすや電動アシスト自転車、自走型ランドの電動カートの販売や貸し出しを手掛ける。

昨年四月に東京・池袋で起きた暴走死傷事故をきっかけに高齢者の免許返納の機運が高まり、セリオが扱う車両の引き合いも増加。一方で、操作に慣れずに短

期間で乗らなくなったり、逆に「まだ元気なので（カートでは）物足りない」という人もいたため、「お試し感覚」で乗れるシヨートクを考案した。

初年度は二百台の貸し出しを目指す。営業推進部の内藤鉄平部長代理は「浜松地域には坂道が多く、電動車の強みを発揮できる」と話す。問い合わせはモビリティショップ浜松＝電053（486）0280へ。